

## USTREAM や Twitter を活用した双方向型授業

### 阪南大学

幅広い教養を持ち地域社会や国際社会に貢献できる人材を育てる教育の一環として USTREAM や Twitter といった情報通信技術(ICT)を利用した学外連携の授業を行なっている。

#### 1. 背景と目的

未知の社会に挑戦する幅広い教養を持ち、社会に貢献できる人材を育てるためには、大学の枠を超えた連携の中で未知のテーマに色々な角度からチャレンジさせる教育が必要になる。この授業では USTREAM や Twitter 等の「知の資財」を活かした学びを通じて地域社会や国際社会に関与できる人材を育成することを目指している。

#### 2. 実施規模

(授業画面)

※経営情報学部

※受講者数約 500 名(学内の全学部・全学年から受講生有)

#### 3. 連携の内容

この授業は、経営情報学部、流通学部、国際観光学部の教員、他大学の教員、時代の先端を行く企業のリーダーがリレー形式で行う講義であり、ICT やインターネットが世界の企業経営、経済、社会、文化、生活の全面に与える影響や特徴、これからの社会など、未知のテーマに色々な角度からチャレンジしていく授業である。全授業において携帯電話を使用して出欠確認を行う。また、全てではないが USTREAM で授業を公開配信するとともに、Twitter、Facebook などの SNS を利用してコメントを受け付け、学生はもちろん一般の方も参加できる形で議論を深める授業を行なっている。さらに、学生とともに地域における生涯学習登録者や一般の方も同じ教室で受講できる公開授業を行っている。



(配信画面)



#### 4. 特徴と効果

##### (1) 対話型の双方向授業

Twitter や Facebook などの SNS を利用してコメントをしてもらい、授業に対する学生の思いを適時スクリーンに提示することで、学生の反応を見ながら授業を進めることができ、学生の授業参加意欲が向上する。また、授業中の理解度把握を適宜携帯電話や携帯情報端末を利用して教室内・外から収集し、反映させる対話型双方向授業の実施により学生の授業参加意識と勉学意欲が喚起されている。(コメント画面)

##### (2) 授業の公開とアーカイブ化

USTREAM の動画配信サービスを活用し、授業の公開とアーカイブ化を行うことにより、受講生は事後学習が可能となり、受講外の学生や社会人は自学自習が可能となることから多数の希望者に学外、自宅などの受講を可能にするとともに生涯学習機会の拡大に寄与している。

##### (3) 外部人材の参画による授業

企業のリーダーや学外教員を含めて授業を行うことにより、社会や企業からの体験情報・技術情報をリアルタイムに取り入れ、授業での内容が実際の社会や企業現場でどのように活用され展開されているのか、学生自身に考えさせる場を提供している。



#### 5. 今後の課題

今後は大学・産業界・地域社会との連携など、他機関との連携をさらに推進していく必要がある。